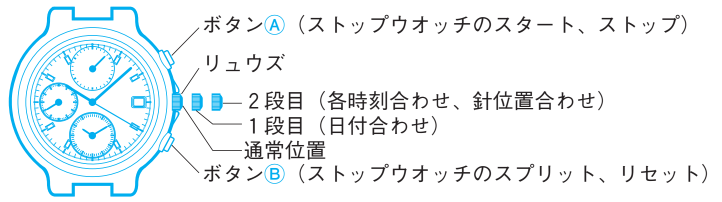
■7T92の主な特長

この時計は、多軸表示によるストップウオッチ機能を備えたアナログ時計です。多機能性、便利さを兼ね備えています。

●現在時刻を時・分・小秒針で表示します。

●ストップウオッチは、1／20秒単位12時間計です。1／20秒、秒、分、時を表す４本の針で、計測時間を表示します。スプリット計測ができます。12時間経過で自動的にストップしリセットします。

■各部の名称とはたらき


ボタンⒶ（ストップウオッチのスタート、ストップ）
リュウズ
２段目（各時刻合わせ、針位置合わせ）
１段目（日付合わせ）
通常位置
ボタンⒷ（ストップウオッチのスプリット、リセット）

※以降の説明では、説明に不要な部分の針を省略することがあります。

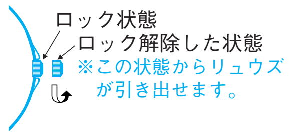
■ネジロックリュウズやネジロックボタン構造について

- 操作しない時に、リュウズやボタンをネジでロックできる構造のモデルがあります。
- ロックすることで誤操作の防止や防水性の向上が図られます。
- 操作をするときはロックを解除し、操作が終わったらロックしておいてください。

●ネジロックリュウズのモデルの場合

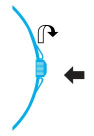
- リュウズをケースにネジ込んでロック（固定）できる構造のモデルは、リュウズを操作する際に、ロックを解除する必要があります。
- リュウズ操作する時以外は、常にロック状態にしておいてください。

【ロック解除のしかた】
リュウズを左に回してください。
ネジがゆるんでリュウズが操作できるようになります。



※この状態からリュウズが引き出せます。

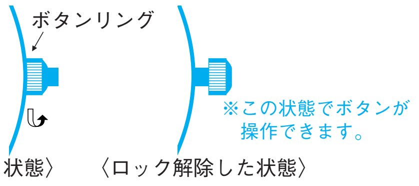
【ロックのしかた】
リュウズ操作が終わったら、リュウズをケースに押しつけながら、右に止まるところまでしっかりネジ込んでください。



●ネジロックボタンのモデルの場合

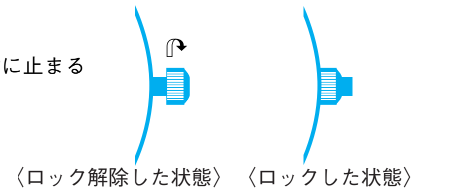
- ボタンリング（ボタンの外周部）をネジ込むことでロック（固定）できる構造のモデルは、ボタンを操作する際に、ロックを解除する必要があります。
- ボタン操作する時以外は、常にロック状態にしておいてください。

【ロック解除のしかた】
ボタンリングを左に止まるまで回してください。
ロックがゆるんでボタンが操作できるようになります。
※充分にゆるめない場合、ボタン操作ができない場合があります。必要以上に強く回さないでください。



※この状態でボタンが操作できます。

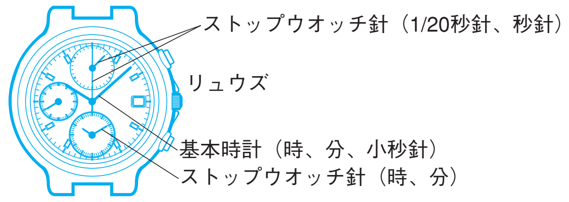
【ロックのしかた】
ボタン操作が終わったら、ボタンリングを右に止まるところまでネジ込んでロックしてください。
※必要以上に強くネジ込まないでください。



■時刻合わせ・ストップウオッチ針の０位置合わせ（基本時計・ストップウオッチ針）

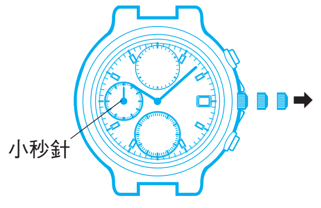
この時計の時刻合わせとストップウオッチ針の０位置合わせは、共にリュウズ２段目で行ないます。
そのため、時刻合わせ等でリュウズを２段目に引き出した際は、下記の２つの項目を確認または合わせ直してから、リュウズを押し込んでください。

- 基本時計の時刻
- ストップウオッチ針（４本）の０位置



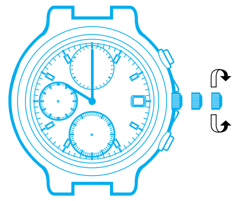
●時刻の合わせかた

①リュウズを２段目まで引き出してください。小秒針が止まります。小秒針は12時の位置に止めてください。



※ストップウオッチ計測中の場合は、ストップウオッチが強制的にリセットされます。

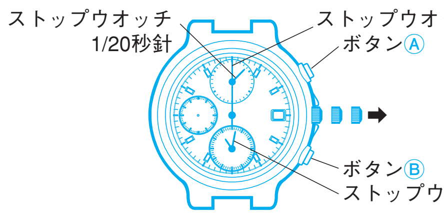
②リュウズを回して、「基本時計」の時刻を合わせます。



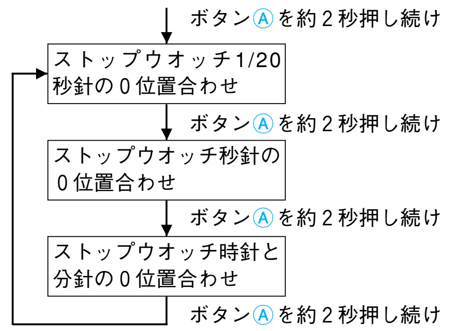
このとき合わせる時刻は、今から数分後の時刻に合わせることをお勧めします。
「ストップウオッチ針の０位置の合わせ」を行ないます。すべての合わせが終わってから、リュウズを押し込むことになるので、数分先の時刻に合わせておく必要があります。

※日付が変わるところが、午前０時です。午前午後を間違えないように合わせてください。
※この時、正確に合わせるために分針を正しい時刻より4～5分進めてから針を戻して合わせてください。

③次に、４本の「ストップウオッチ針」の０位置を合わせます。
「ボタンⒶを約２秒押す」ことで、修正できる針が次々と切り替わります。



ボタンⒷを押して修正します。押し続けると、早送りします。


ボタンⒶを約２秒押し続け
ストップウオッチ1/20秒針の０位置合わせ
ボタンⒶを約２秒押し続け
ストップウオッチ秒針の０位置合わせ
ボタンⒶを約２秒押し続け
ストップウオッチ時針と分針の０位置合わせ
ボタンⒶを約２秒押し続け

ストップウオッチ1/20秒針が１周回って修正状態であることを示します。
ボタンⒷを押して合わせます。

ストップウオッチ秒針が１周回って修正状態であることを示します。
ボタンⒷを押して合わせます。

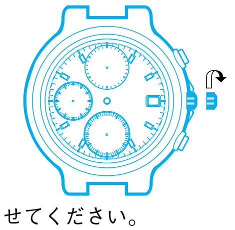
ストップウオッチ時、分針が12時間回って修正状態であることを示します。
ボタンⒷを押して合わせます。

④すべての合わせができたら、時報と同時にリュウズを押し込みます。
※基本時計の時刻が合わせる時刻になっているか確認してリュウズを押し込んでください。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

■日付の合わせかた

- 時刻合わせができてから、日付を合わせてください。
- １ヶ月が31日でない＝小の月（２，４，６，９，11月）の翌月のはじめに、日付を合わせ直すときに行ないます。

①リュウズを１段目まで、引き出してください。

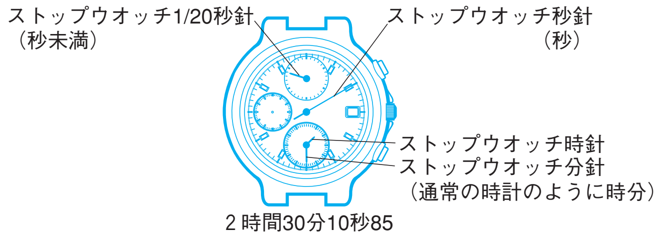


②リュウズを右に回して、日付を合わせてください。
※午後９時から午前１時までは日付を合わせないでください。この時間帯に合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがあるので、この時間帯外で日付を合わせてください。
③合わせ終わったら、リュウズを押し込んでください。

■ストップウオッチの使いかた

- 1/20秒単位、12時間計です。12時間計測すると自動的にストップします。
- 全部で４本のストップウオッチ専用の針が計測時間を示します。
- ストップウオッチ1/20秒針は、連続して約10分間作動すると運針を自動的に止めます。スプリットまたはストップ操作があるとその計測時間を示します。
- スプリット機能があります。

〈計測時間の読みかた〉
４本のストップウオッチ針（1/20秒、秒、分、時針）で計測時間を読み取ります。



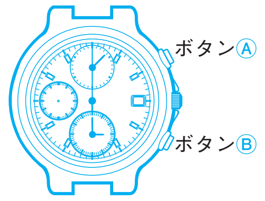
２時間30分10秒85

４本の針で、時、分、秒、1/20秒を読み取ります。

〈ストップウオッチ針の０位置について〉
- ストップウオッチをリセットしても、ストップウオッチ針が０位置に戻らない場合、０位置合わせが必要です。
- ストップウオッチ針の０位置合わせは、基本時計の時刻合わせと同時に行ないます。
（→「■時刻合わせ・ストップウオッチ針の０位置合わせ」を参照）

〈ストップウオッチ1/20秒針の動きについて〉
- この針は約10分間連続して運針すると、自動的にその動きを止めます。
- 自動的に止まった後、スプリットおよびストップの操作があると、計測した時間を示します。
- スプリット解除後や再スタート後では、９分連続運針後ストップウオッチ秒針が０秒を通過するタイミングで、自動的に動きを止めます。
- スタート後、「ストップ、再スタート」を繰り返す、または「スプリット、スプリット解除」を繰り返した場合、最後の操作があってから、約10分間は動き続けます。

●ストップウオッチのリセット方法
- ストップウオッチ針が動いている場合、
  ①ボタンⒶでストップ
  ②ボタンⒷでリセット
- ストップウオッチ針が止まっている場合、以下の３つの場合があります。
  【ストップ状態で止まっている】
  ①ボタンⒷでリセット
  【スプリット表示で、内部では計測中】
  ①ボタンⒷでストップウオッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
  ②ボタンⒶでストップ
  ③ボタンⒷでリセット
  【スプリット表示で、ストップ状態】
  ①ボタンⒷでストップウオッチ針が早送りし、その後止まる。
  ②ボタンⒷでリセット



●通常の使用方法

ボタンⒶ スタート → ボタンⒶ ストップ → ボタンⒷ リセット

●時間計測を積算で行なう場合

ボタンⒶ スタート → ボタンⒶ ストップ → ボタンⒶ 再スタート …→ ボタンⒶ ストップ → ボタンⒷ リセット

何回でも繰返すことができます。

●途中経過（スプリットタイム）を計測する場合

ボタンⒶ スタート → ボタンⒷ スプリット → ボタンⒷ スプリット解除 → ボタンⒶ ストップ → ボタンⒷ リセット

何回でも繰返すことができます。

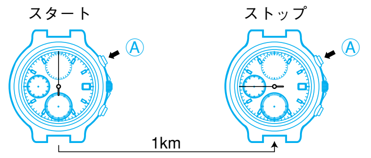
●２人のタイムを計測する場合

ボタンⒶ スタート → ボタンⒷ １人目がゴール １人目のタイム → ボタンⒶ ２人目がゴール → ボタンⒷ ２人目のタイム → ボタンⒷ リセット

＝タキメーター（TACHYMETER）がついている場合＝

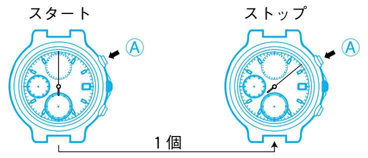
●単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。

時速を測定する場合



①１km走るのに要した時間を計測します。
②秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。
80km/時

１時間あたりの出来高を求める場合



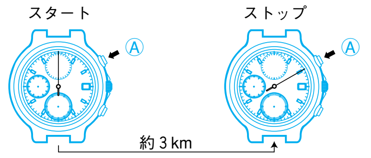
①製品１個が出来あがるのに要した時間を計測します。
②秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。
400個/１時間あたり

＝テレメーター（Telemeter）がついている場合＝

●音の発生場所までの、目安の距離を算出する事が出来ます。

〈テレメーターとは〉
- 「いなびかり」を見てから、その「雷鳴」が聞こえるまでの時間を測定することで、雷の発生場所からの距離を推測することができます。
- 光（いなびかり）は、ほぼ瞬時に届き、音（雷鳴）は約0.33km/秒の速さで聞こえることを利用して、発生場所からの距離を算出します。
- １kmを３秒かかるとして、目盛りを用意してあります。

⚠注意
あくまでも目安の距離を算出するもので、雷からの危険を避けるための行動判断には、使用できません。
また、音の速度は伝わる空間の温度によって変わります。



●計測方法
①ストップウオッチをリセットしておき、「いなびかり」を見たと同時にストップウオッチをスタートさせます。（ボタンⒶ）
②その雷鳴が聞こえたら、ストップウオッチをストップさせます。（ボタンⒶ）このとき、ストップウオッチの秒針が示す値を読み取ると、距離が読み取れます。

⚠注意
ストップウオッチ秒針は１秒ステップ運針するので、タキメーターやテレメーターのそれぞれの目盛と合わない部分がありますが、目安として近い数値を読みとってください。また、計測は１分以下のみで有効です。

■こんな時には

現　象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	電池の容量がなくなった。	電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。
小秒針が2秒運針している。	電池寿命切れが近づいた。	
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところ、または、寒いところへ放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。この時計は気温５℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
ストップウオッチをリセットしても0に戻らない。	磁気や外部からの衝撃が加えられた。	ストップウオッチ針の０位置合わせをしてください。 →「■時刻合わせとストップウオッチ針の０位置合わせ」を参照
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。
日付けが、日中に変わる。	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間、針を進めて時刻および日付けを合わせ直してください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■電池について

(1) 電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約３年間作動します。
ただし、ストップウオッチは１日２時間以内を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

(2) 最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

(3) 電池寿命切れ予告機能
小秒針が１度に２目盛送るようになると、電池寿命切れが間近であることを示しています。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。この場合でも時刻は正常です。

(4) 電池交換
①電池交換は、必ずお買い上げ店または、セイコー取扱店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
④電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。

(5) 電池交換後のお願い
電池交換後は、基本時計の時刻合わせとストップウオッチ針の０位置合わせを行なってください。
→「■時刻合わせ・ストップウオッチ針の0位置合わせ」を参照

⚠警告
①お客様は、時計から電池を取り出さないで下さい。
②やむを得ずお客様が時計から電池を取りだした場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
③万一飲み込んだ場合は、身体に害があるためただちに医師とご相談ください。

⚠注意
①破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
②この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
③「常温（５℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがあります。

■製品仕様

1．水晶振動数・・・32,768Hz（Ｈｚ＝１秒間の振動数）
2．精度・・・・・・平均月差±15秒（気温５℃～35℃において腕につけた場合）
3．作動温度範囲・・－10℃～＋60℃
4．駆動方式・・・・ステップモーター式：４個
5．表示内容・・・・【時刻機能】時、分、小秒針（１秒ステップ運針）
　【ストップウオッチ機能】
　　ストップウオッチ1/20秒針（1/20秒ステップ運針、１秒／１周）
　　ストップウオッチ秒針（１秒ステップ運針、60秒／１周）
　　ストップウオッチ分針（１分ステップ運針、60分／１周）
　　ストップウオッチ時針（ストップウオッチ分針と連動、12時間／１周）
6．使用電池・・・・小型酸化銀電池　ＳＢ－ＡＰ：１個
7．電池寿命・・・・約３年
　ただし、１日にストップウオッチ２時間以内
8．電子回路・・・・発振、分周、駆動回路（Ｃ－ＭＯＳ－ＩＣ）：１個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■使用上の注意とお手入れの方法

⚠注意

日常のお手入れ
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
- 時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで汚れやケース、バンド、及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉
- 革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉
- 金属バンドはときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

〈軟質プラスチックバンド〉
- ウレタンバンド等軟質プラスチックでできているバンドは、特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときには石鹸水で洗ってください。化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。
- 非防水時計は、水（水道の水はね、雨、雪など）や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸湿性のよい布などで水分をふきとってください。
- 日常生活用強化防水時計は海水中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
- 回転ベゼルつきの時計の場合、ベゼル下に汚れなどがたまり、回転が重くなることがありますので清潔にしてご使用ください。

⚠注意

かぶれやアレルギーについて
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- かぶれの原因として考えられますのは、
  1．金属・皮革に対するアレルギー
  2．時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗等です。
- 万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し医師にご相談ください。

保管について
- 「－10℃～＋60℃からはずれた温度」下では機能が低下したり停止する場合があります。
- 磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- 強い振動のあるところに放置しないでください。
- 薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナー、などの有機溶剤およびそれらを、含有するもの――ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など――水銀、ヨウ素系消毒液など）
- 温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

⚠注意

防水性能
- 時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
- 水分のついたままりゅうずを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

時計の防水表示 上段：文字版 下段：裏ぶた	使用例 防水の基準	雨や洗顔など日常生活で予想される「水がかかる」程度	水に関係の深い仕事（農水産・園芸・食堂など）やスポーツ（水泳やヨット）で使用できる程度	空気ボンベを使用しない潜水（スキンダイビング）や入浴に使用できる程度	空気ボンベを使用する潜水（スキューバ潜水）に使用できる	ヘリウムガスを使用する潜水方式（飽和潜水）に使用できる。
表示なし 表示なし	非防水	×	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST	日常生活用防水（3気圧防水）	○	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST WATER RESIST 5 BAR のいずれか	日常生活用強化防水（5気圧防水）	○	○	×	×	×
表示なし WATER RESIST 10 BAR のいずれか マークWATER RESIST 又は WATER RESIST 10 BAR	日常生活用強化防水（10気圧防水）	○	○	○	×	×
表示なし WATER RESIST 20 BAR のいずれか WATER RESIST 20 BAR	日常生活用強化防水（20気圧防水）	○	○	○	×	×

入浴について
10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のことに注意して下さい。
- 時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。
（防水機能が維持できなくなることがあります）
- 温水で時計が温まりますと、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

⚠警告
- 日常生活用防水（３気圧）の時計は、水の中にいれてしまうような環境での使用はできません。
- 日常生活用強化防水（５気圧）の時計は、スキンダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- 日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

⚠注意

アナログクオーツ時計の耐磁性能

JIS耐磁時計種類	耐磁性保証水準	耐磁表示ケース裏ブタ表	耐磁性
－	1,600A/m	無表示	ほとんどの時計が耐えられる耐磁性水準
1種	4,800A/m	⋂	日常生活において磁界を発生する機器に5cmまで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性水準
2種	16,000A/m	⋂	日常生活において磁界を発生する機器に1cmまで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性水準

※ダイバーズウオッチの場合は必ず耐磁時計ですので、裏ブタの耐磁表示を設けておりません。

⚠注意
- 提げ時計やペンダント時計の場合は、ひもやチェーンによって大切な衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。
- バンド着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- 特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますのでご注意ください。

定期点検について
- ながくご愛用いただくために、２～３年に一度程度の点検調整をおすすめします。
定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水分の侵入などの点検をお買い上げ店にご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
- 部品（電池）交換の時は、「セイコー純正部品（電池）」とご指定ください。
電池が切れたまま長時間放置しますと、漏液等で故障の原因になりますのでお早めに交換してください。
- 定期点検や電池交換の際にはパッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は通常７年間を基準としています。
正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
- 修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

■アフターサービスについて

- 万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- 修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」にお問い合わせください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。